



スマカチ調査 No.02

女性のDIYニーズ調査

～潜在ニーズは65%!!～

調査結果報告書

2015年7月

住まい価値総合研究所  
(株)かんでんCSフォーラム

## はじめに

(株)創樹社は、次世代型の住生活産業を研究、検討、協議する「場」として、2015年4月に「住まい価値総合研究所（スマカチ総研）」を設立しました。

住宅産業に関連する企業、さらには住生活に関する異業種が集い、それぞれが目指すべき次世代の住宅産業像を、いろいろな形で検討していきます。

その活動の一環として、(株)かんでんCSフォーラムと共同で一般消費者を対象とした調査を実施、広く情報発信しています。

第1回調査「女性の住生活ニーズ調査～宝くじ5,000万円当たったら何にいくら使う～」に続き、このほど第2回目調査「女性のDIYニーズ調査」を2015年6月に実施しました。

ここにきて住生活産業において“DIY”というキーワードが急浮上してきました。

住まいを長く使うことが当たり前求められるようになるなか、自分の家は自分で手を入れるという流れが生まれつつあるのかもしれませんが。加えて、住まいのメンテナンスにとどまらず、積極的に自分の好みの空間にしたい、自分らしい暮らしがしたいというニーズの強まりがDIYにつながっているようです。一方、空き家や空き室対策としてもDIYが注目されています。

DIYは、これまでのテーブルや椅子などを自作するイメージから大きく変わりつつあると言っていいでしょう。

そこでスマカチ総研では、かんでんCSフォーラムと共同で「女性のDIYニーズ調査」を実施しました。かんでんCSフォーラムが展開するポータルサイト「フルルKansai」の会員を対象に実施したもので、女性のDIYに対する意欲や、自ら住まいに手を入れるニーズを探りました。

2015年7月

### 目次

(1) 調査の目的	3
(2) 調査の方法・対象・時期	3
(3) 調査の結果	
○属性（年代別構成比、現在の住まい）	3
○DIYの経験・希望	4
○DIYの経験・希望—現在の住まい別	5
○DIYの経験・希望—住宅の期待耐用年数別	6
○DIYで変えた理由・変えたい理由	7
○DIYで変えた理由—年代別	8
○DIYで変えたい理由—年代別	9
○DIYができない理由	10
○DIYで何を变えた・変えたい？	11
○DIYで何を变えた・変えたい？—DIY実施者	12
○DIYで何を变えた・変えたい？—DIY潜在需要者	13
○DIYでどのような住まいにしたい？	14
○DIYでどのような住まいにしたい？—DIY実施者	15
○DIYでどのような住まいにしたい？—DIY潜在需要者	16
○DIYで使う建材、設備に何を求める？	17
○DIYしやすい家とは？	18
(4) ストックマーケットのなかでのDIYの可能性	19

(1) 調査の目的

女性のDIYそのものに対するニーズとともに、DIYを介して居住空間をどのように変えたいかなどの意向を探る。

(2) 調査の方法・対象・時期

調査方法・対象：かんでんCSフォーラムが展開するポータルサイト「フルルKansai」の会員を対象にwebアンケートを実施。

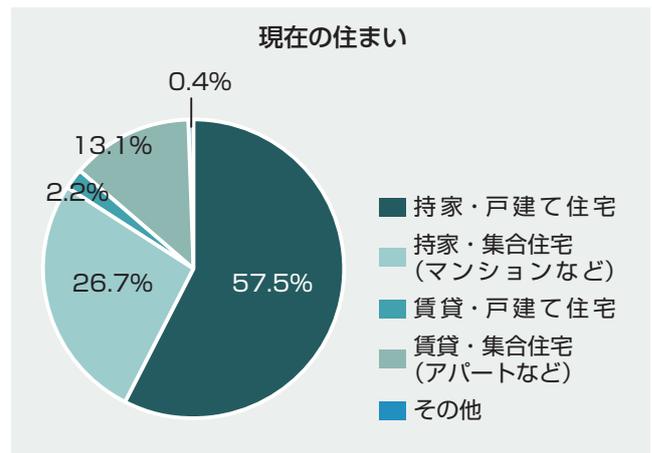
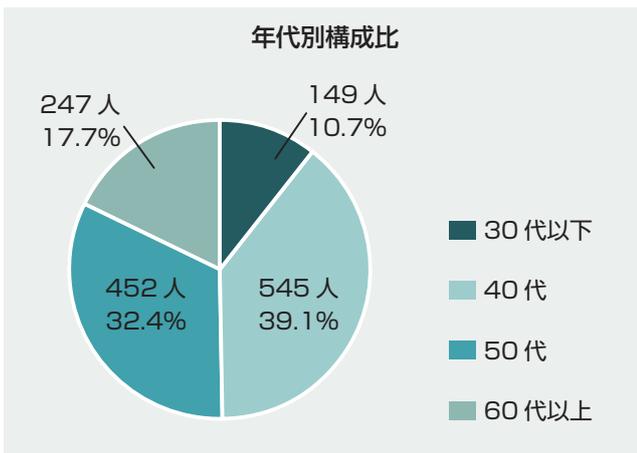
調査時期：2015年6月4日～6月10日

回収サンプル数：1,393サンプル

(3) 調査の結果

【属性】

- 1,393人の年代構成比は、40代が約4割、50代が約3割を占めている。
- 現在の住まいは、50代以上が半数であることから「持家戸建」が6割弱を占める。次いで「持家集合住宅」が27%弱であり、あわせて約85%が持家となっている。



年代別の現在の住まい

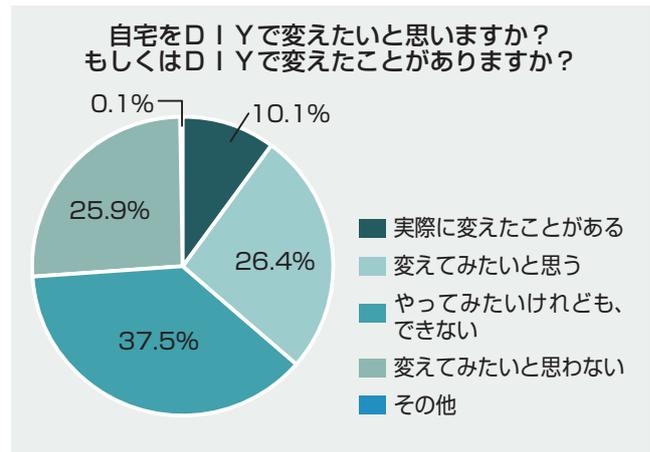
単位：%

		持家・戸建て住宅	持家・集合住宅 (マンションなど)	賃貸・戸建て住宅	賃貸・集合住宅 (アパートなど)	その他
全体		57.5	26.7	2.2	13.1	0.4
年代	30代以下	51.7	16.8	2.7	26.8	2.0
	40代	53.6	27.9	2.6	16.0	-
	50代	58.0	28.3	2.2	10.8	0.7
	60代以上	68.8	27.1	1.2	2.8	-

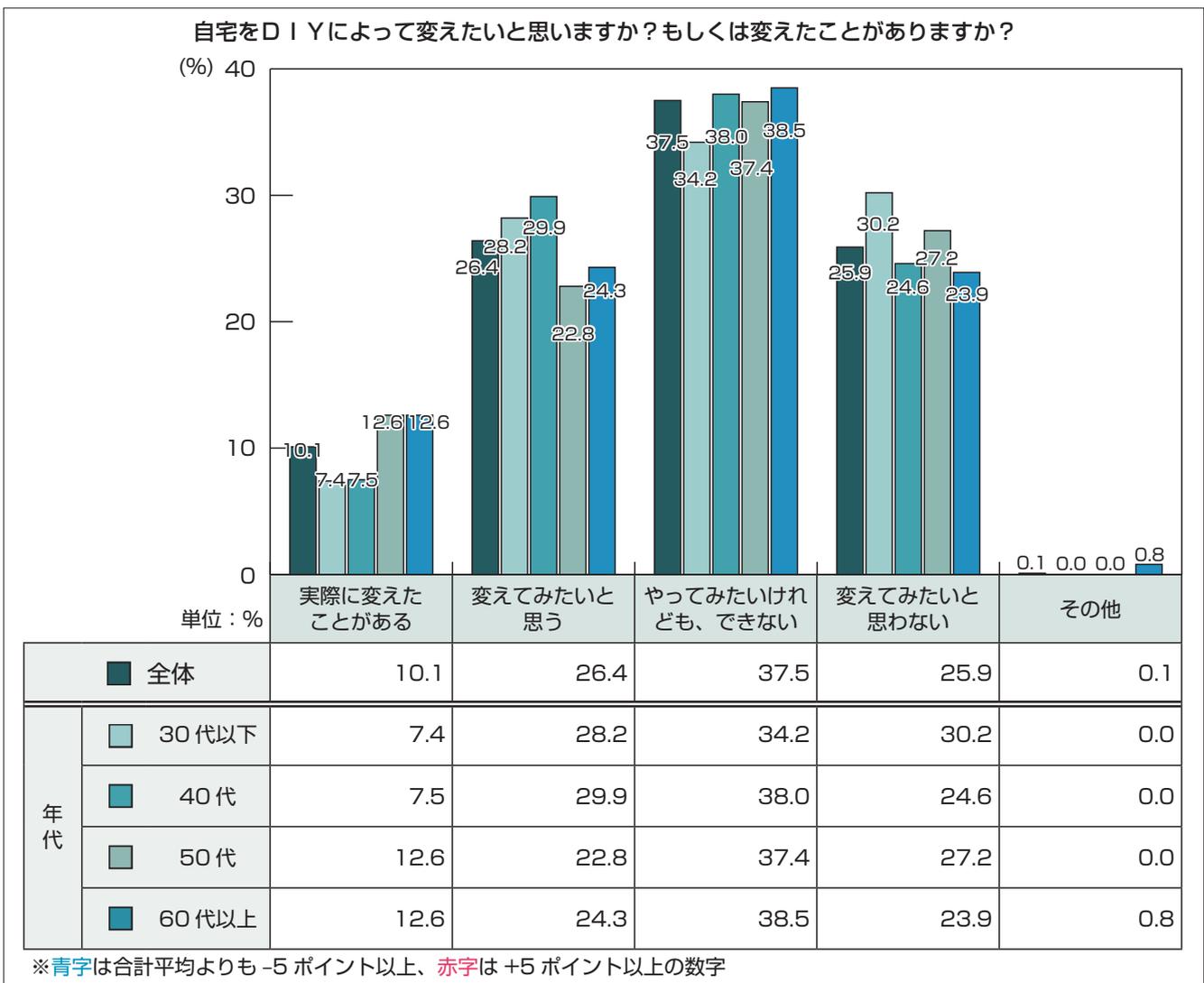
※青字は合計平均よりも-5ポイント以上、赤字は+5ポイント以上の数字

**【DIYの経験・希望】**

DIY経験者は1割  
潜在ニーズは6割以上に

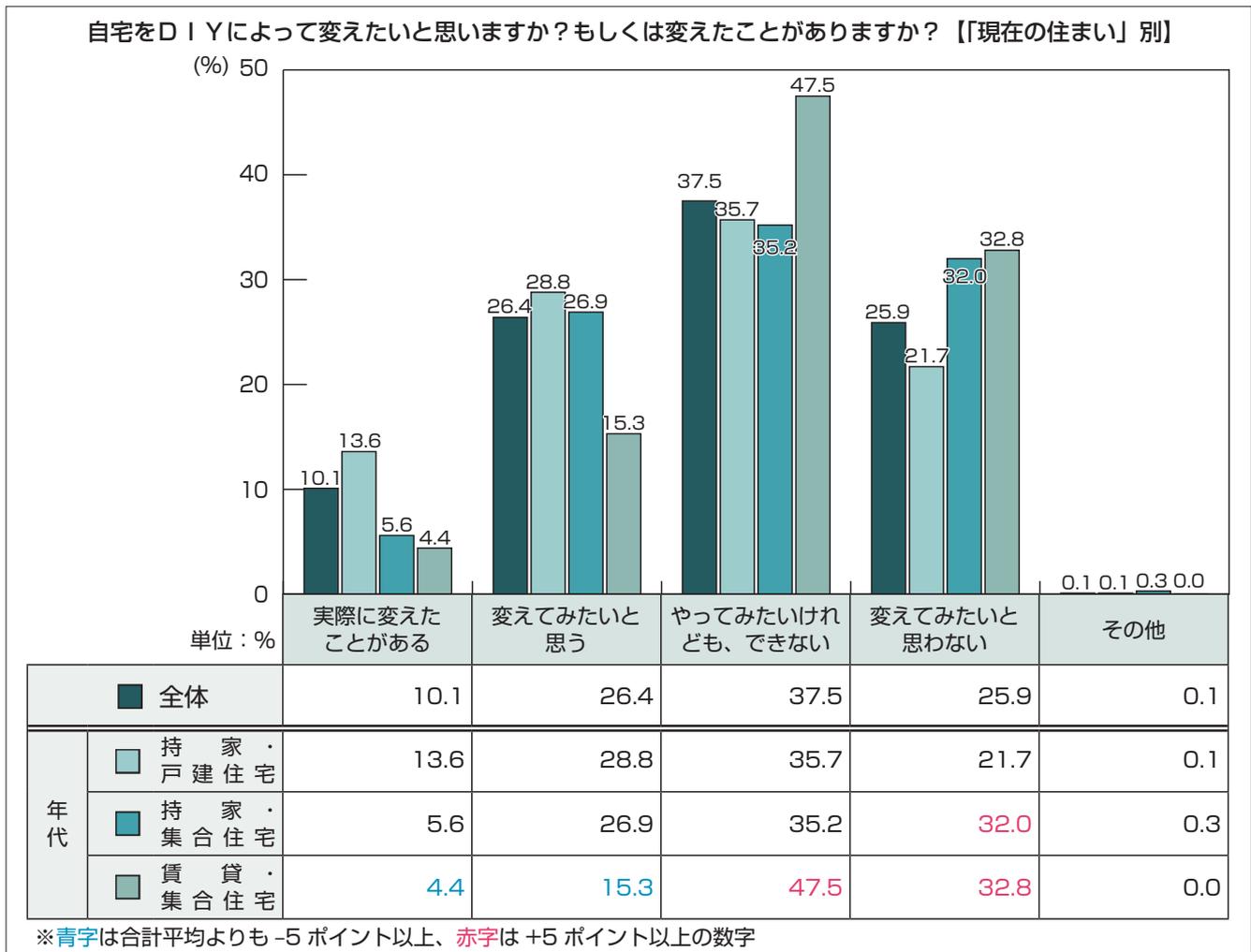


- 「自宅をDIYによって変えたいと思いますか？もしくはDIYで変えたことがありますか？」との問いで、DIYに対するニーズを聞いたところ、DIYの経験がある女性は1割存在する。
- さらに「変えてみたいと思う」が約4分の1とニーズは強く、「やってみたいけれどもできない」をあわせると6割を超える人がDIYに興味を持っており、潜在ニーズは強い。
- こうした傾向に年代別の大きな違いはなく、全体平均の±5ポイント以内となっている。ただ、「実際に変えたことがある」と回答した層は、40代以下と50代以上が明確に分かれ、50代以上が高い。逆に「変えてみたいと思う」との回答は、40代以下が50代以上に比べて高くなっている。年代が高い層は自らが手を入れることに抵抗感がなくDIYを行い、若い層は興味はあるが実際には行っていないという様子がうかがえる。

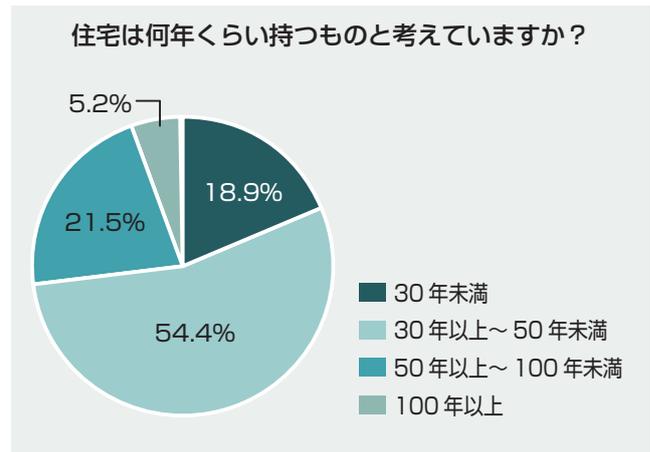


**【DIYの経験・希望－現在の住まい別】**  
**DIYニーズは戸建と集合で顕著な差**  
**集合住宅居住者にDIYは難しい？**

- DIYのニーズを、現在の住まい別にみると（割合の少ない「賃貸・戸建」と「その他」を除く）、「実際に変えたことがある人」は、「持家・戸建」が全体平均を上回っており、「持家・集合」と「賃貸・集合」は全体平均の半分程度。
  - 「変えてみたい」と思っている人は、「持家」の「戸建」と「集合」が多く、「賃貸・集合住宅」が顕著に少なくなっている。逆に、「やってみたいけれどもできない」は「賃貸・集合」だけが突出して高い。
  - また、「変えてみたいと思わない」は「実際に変えたことがある」と逆に、「持家・戸建」が顕著に少なく、「持家・集合」と「賃貸・集合」が高くなっている。
  - これらのことから、DIYは「持家・戸建」が取り組みやすく、集合住宅は持ち家にしろ賃貸にしろ取り組み難いようだ。
- ただ、賃貸・集合については、「変えてみたいと思う」が少ない一方で「やってみたいけれどもできない」が高くなっていることから、賃貸・集合住宅の居住者のDIY潜在ニーズは決して低いとは言えず、「できない」という阻害要因次第ではニーズを顕在化させることが可能とみられる。

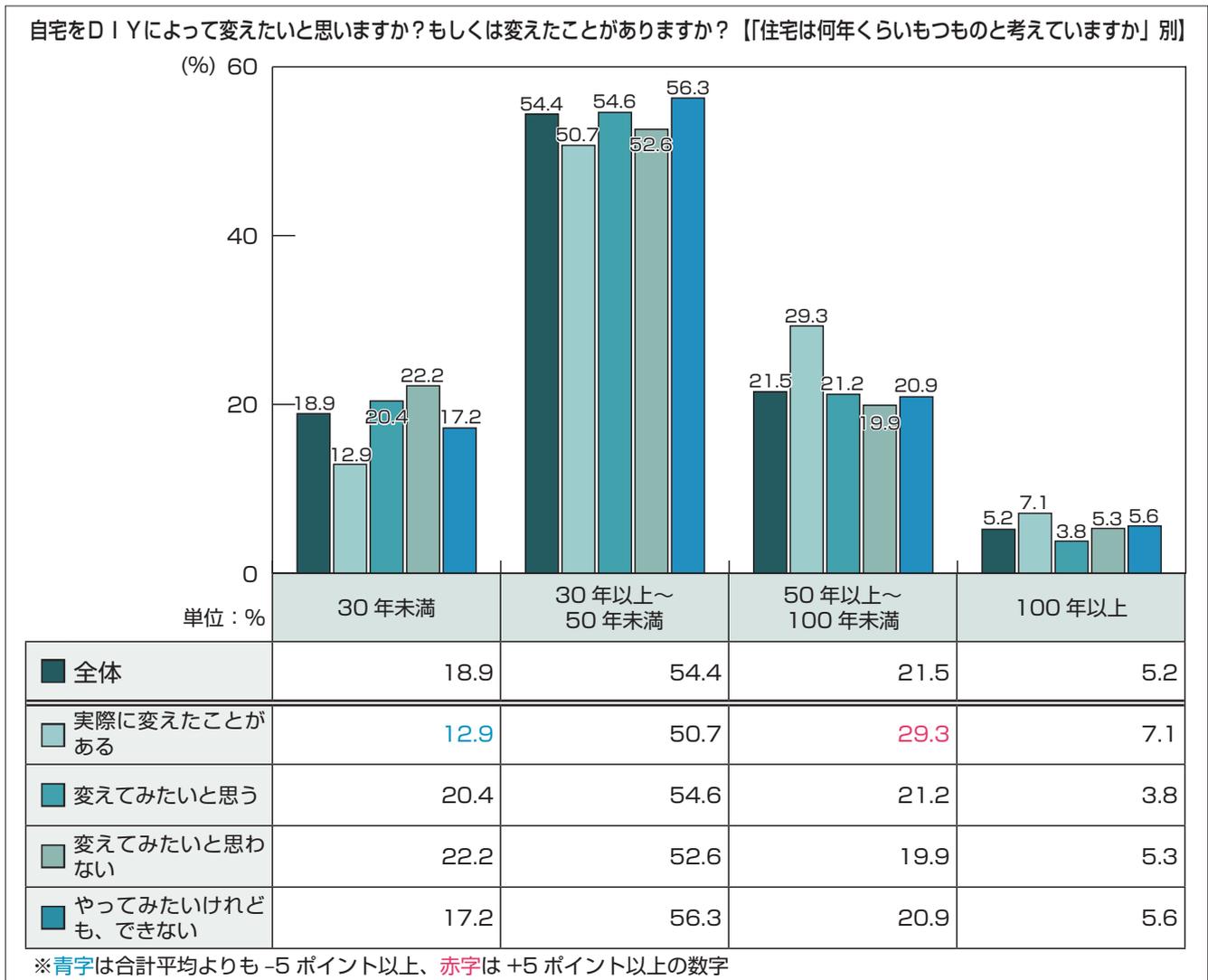


**【DIYの経験・希望—住宅の期待耐用年数別】**  
**住宅の期待耐用年数は30～50年が過半数**  
**DIY経験者は「住宅は長く使うもの」**



○住宅に対する期待耐用年数別にDIYニーズを見てみた。「住宅は何年くらいもつものと考えていますか」の問いへの回答は、「30年未満」が18.9%、「30年以上～50年未満」が54.4%、「50年以上～100年未満」が21.5%、「100年以上」が5.2%であり、過半数が「30年以上～50年未満」と回答している。

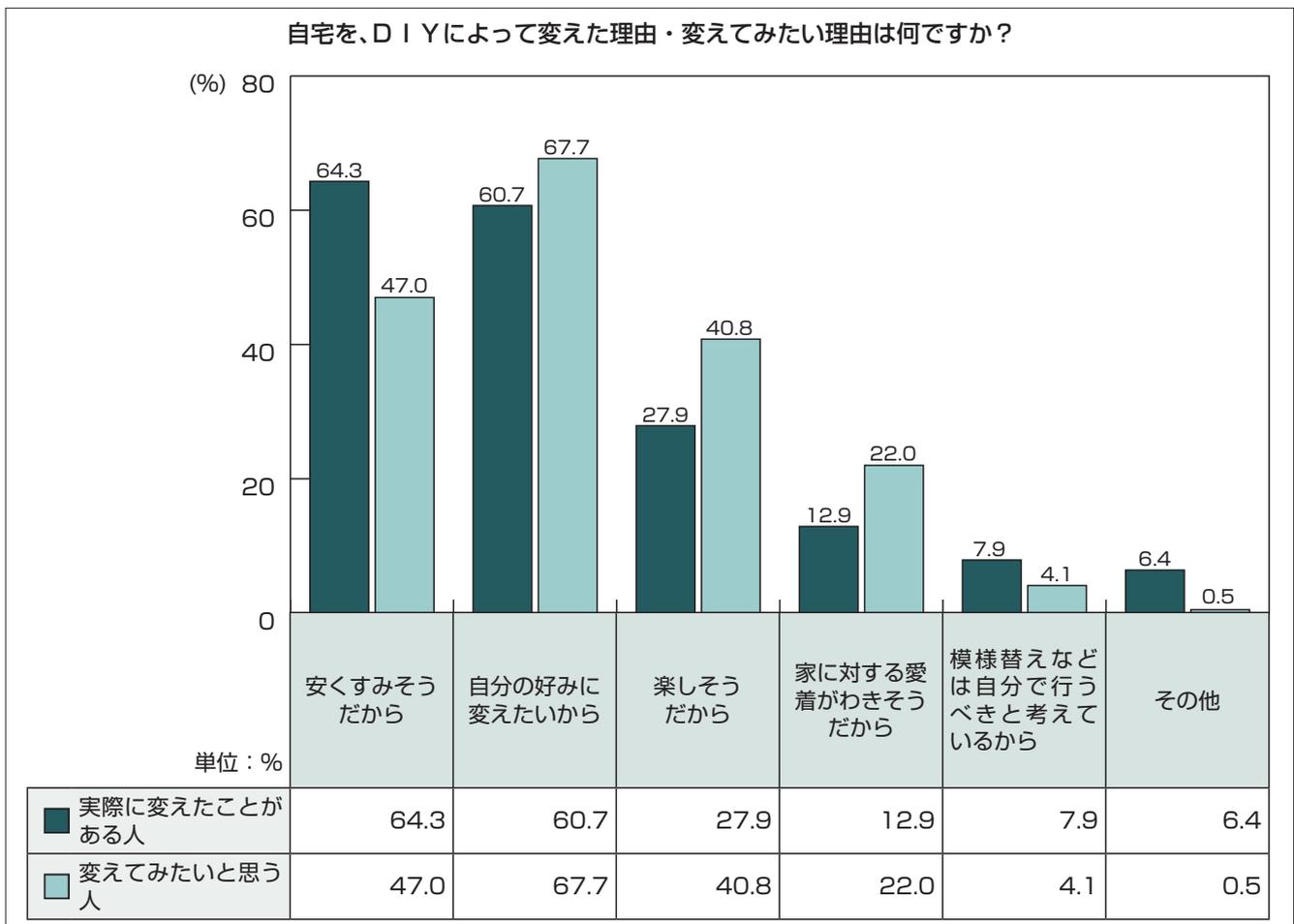
特徴的なのは、「自宅をDIYで変えたことがある」人は、「30年未満」との回答がほかに比べて低く、同時に「50年以上～100年未満」との回答がほかに比べて顕著に多くなっていることである。DIYにより自宅に手を入れたことがある人は、やったことがない人に比べ、住宅に対する期待耐用年数が長いといえる。



**【DIYで変えた理由・変えたい理由】**

自分好みの空間にしたい  
 楽しみやコストも魅力に

- 自宅をDIYによって変えた人・変えてみたいと思う人に、それぞれ「変えた理由」・「変えたい理由」を聞いたところ、DIY経験者は「安くすみそうだから」、「自分の好みに変えたいから」の順。「変えてみたいと思う人」は逆に「自分の好みに変えたいから」、「安くすみそうだから」の順であり、この2項目がDIYによって住まいを変えたい大きなモチベーションとなっている。
- 「安くすみそうだから」という回答は「変えてみたいと思う人」が「変えたことがある人」に比べて少なく、逆に「楽しそうだから」と「家に対する愛着がわきそうだから」の割合が10ポイント程度高くなっている。DIY経験者に比べて、これからDIYで自宅に手を入れたいと考えている人は、DIYに対してさまざまな価値を描いているようだ。

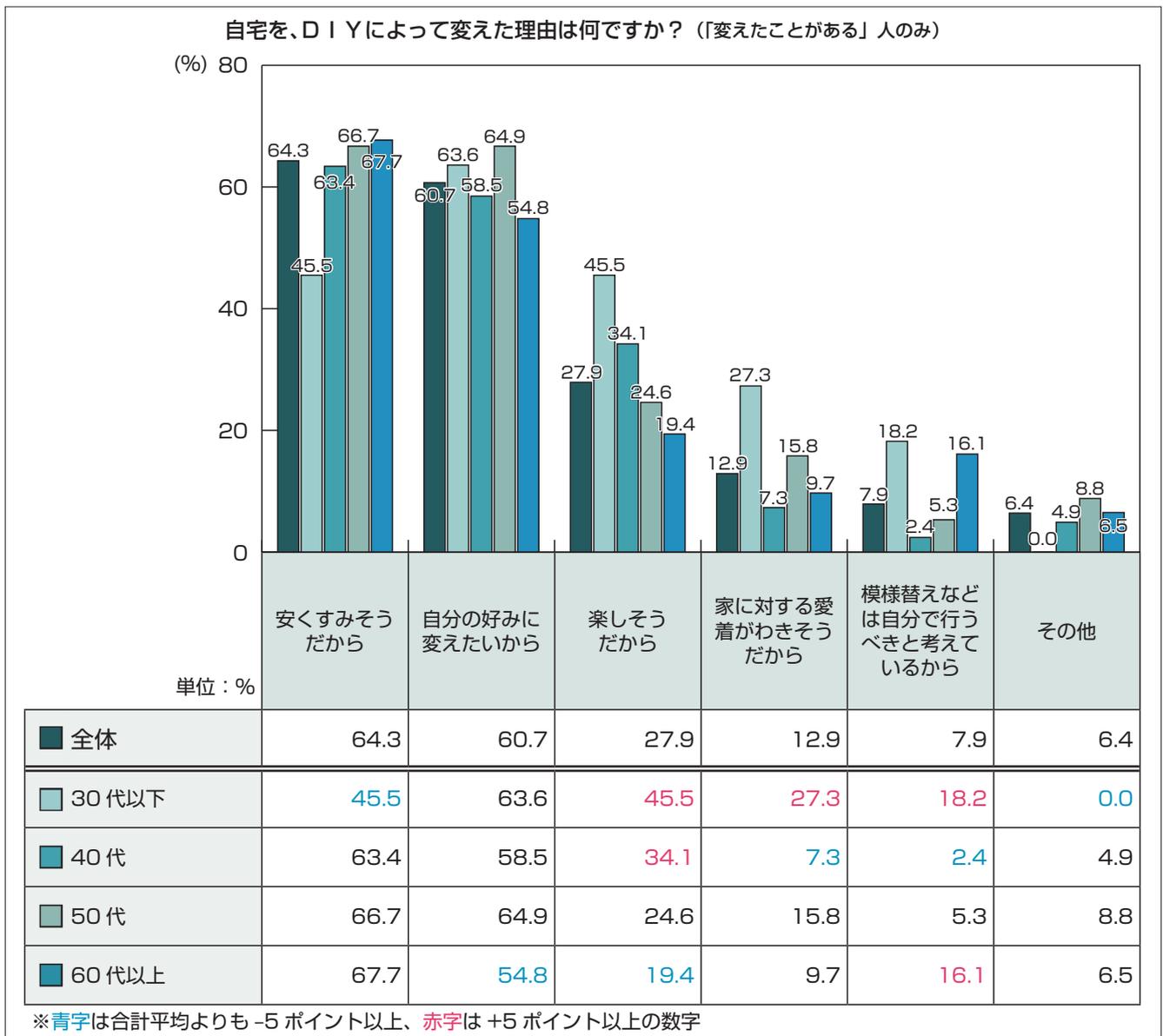


【DIYで変えた理由一年代別】

年代が高いほどコストが理由

若い層は楽しみを求める

- 自宅をDIYによって変えたことがある人の理由を年代別にみると（30代以下はサンプルが少ないため参考値）、トップの「安くすみそうだから」は年代が上がるにつれて少しずつ高くなっている。全体の割合は少ないが「模様替えなどは自分で行うべきと考えているから」も同様の傾向となっている。
- 逆に「楽しそうだから」との回答は、若い層ほど割合が高い。
- 「自分の好みを変えたいから」は年代別に大きな違いは見られないが、強いて言うならば60代以上が平均値を約6ポイント下回る。
- 上記を踏まえると、同じ「自分好みに変えたい」という理由も、若い層ほどはそこに楽しみを見出し、年齢が上がるにつれて「手を入れることは当然」という意識が強くなるとみられる。



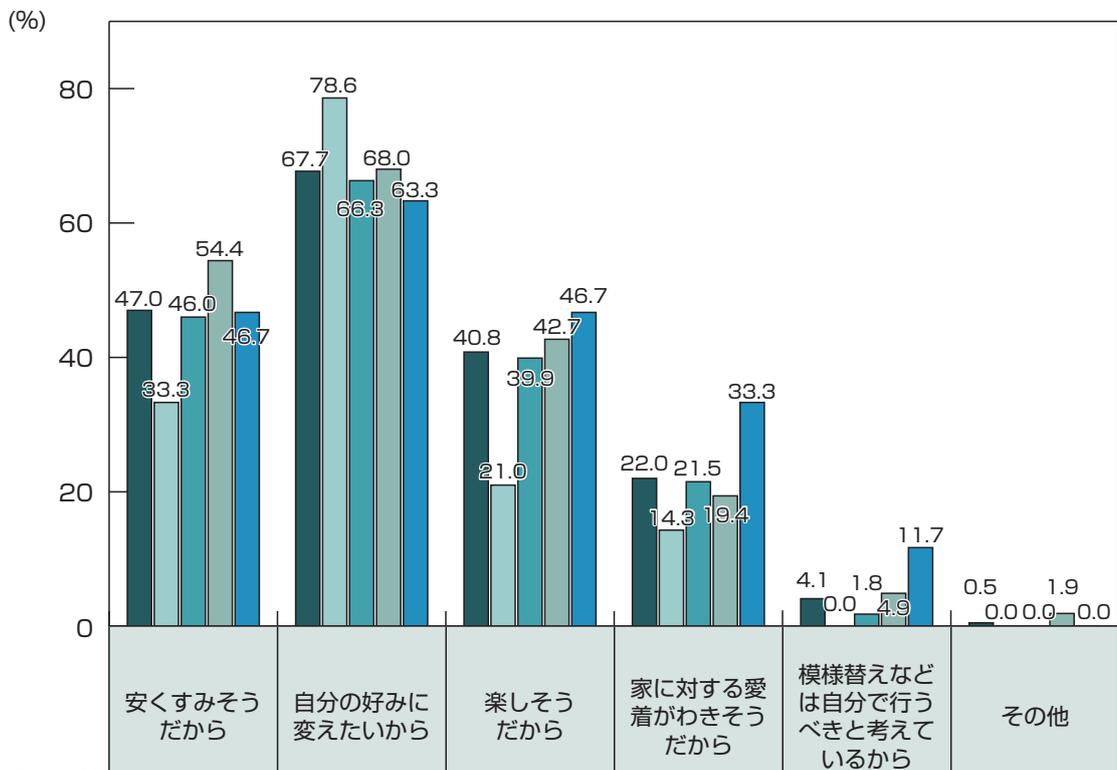
【DIYで変えたい理由一年代別】

年代が高いほどコストが理由

若い層は楽しみを求める

- 自宅をDIYによって変えてみたい人の理由を年代別にみると、トップの「自分の好みを変えたいから」では30代以下が平均を10ポイント以上上回り突出している。逆に、それ以外の「安くすみそう」、「楽しそう」、「家に対する愛着がわく」の項目は他年代に比べて顕著に低くなっている。
- 50代は「安くすみそう」が他年代に比べて高いのが特徴となっている。
- 「楽しそう」と「家に対する愛着がわきそう」は、年齢が高まるにつれて支持が高まる傾向がある。特に「楽しそう」というDIYに対する捉え方がDIY経験者に比べて高いだけでなく、年齢が高まるにつれて支持が高くなるというまったく逆の結果となっている。

自宅をDIYによって変えてみたい理由は何ですか？（「変えてみたい」人のみ）



単位：%

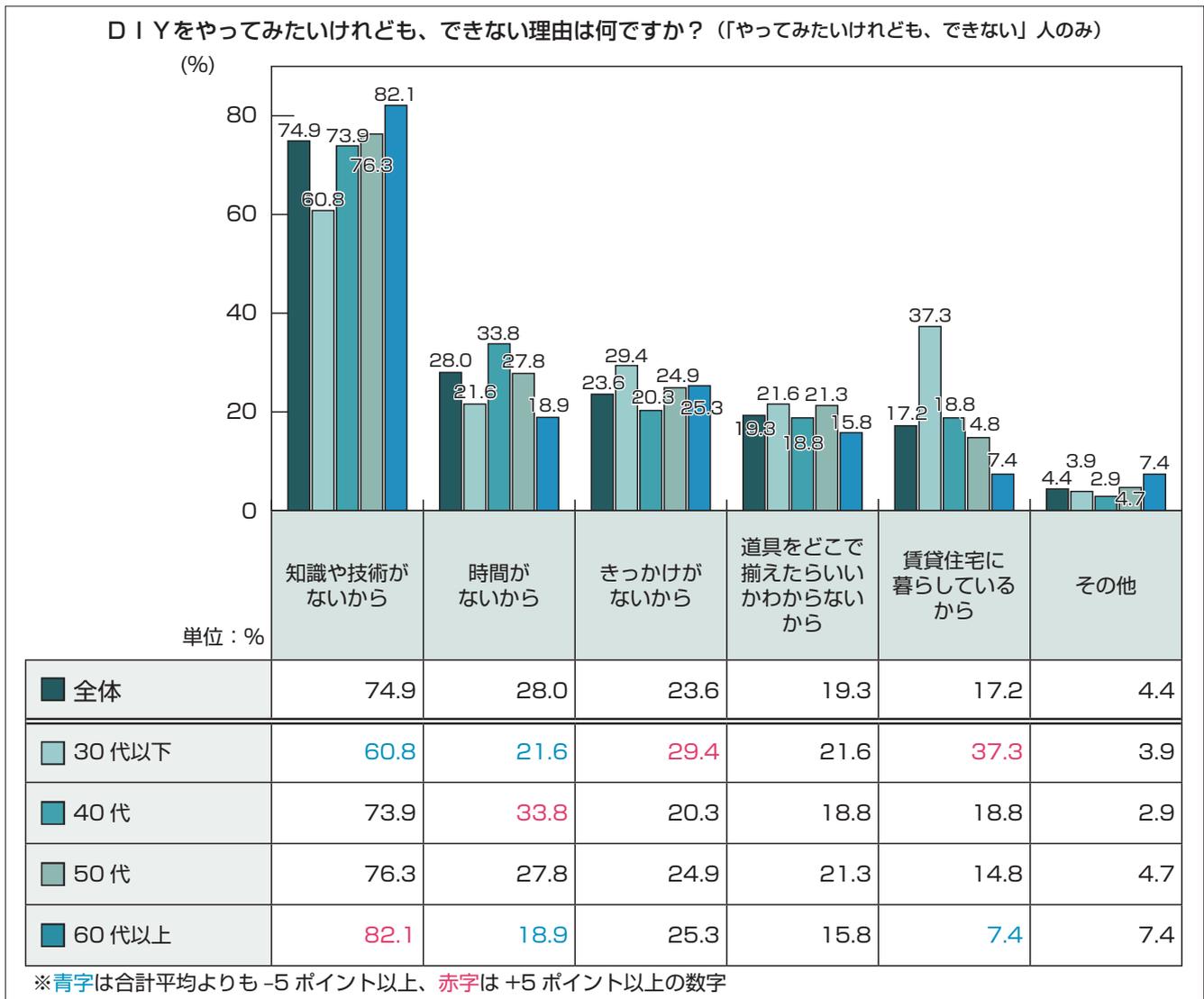
	安くすみそう だから	自分の好み を変えたいから	楽しそう だから	家に対する愛 着がわきそう だから	模様替えなど は自分で行う べきと考えて いるから	その他
■ 全体	47.0	67.7	40.8	22.0	4.1	0.5
■ 30代以下	33.3	78.6	31.0	14.3	0.0	0.0
■ 40代	46.0	66.3	39.9	21.5	1.8	0.0
■ 50代	54.4	68.0	42.7	19.4	4.9	1.9
■ 60代以上	46.7	63.3	46.7	33.3	11.7	0.0

※青字は合計平均よりも-5ポイント以上、赤字は+5ポイント以上の数字

【DIYができない理由】

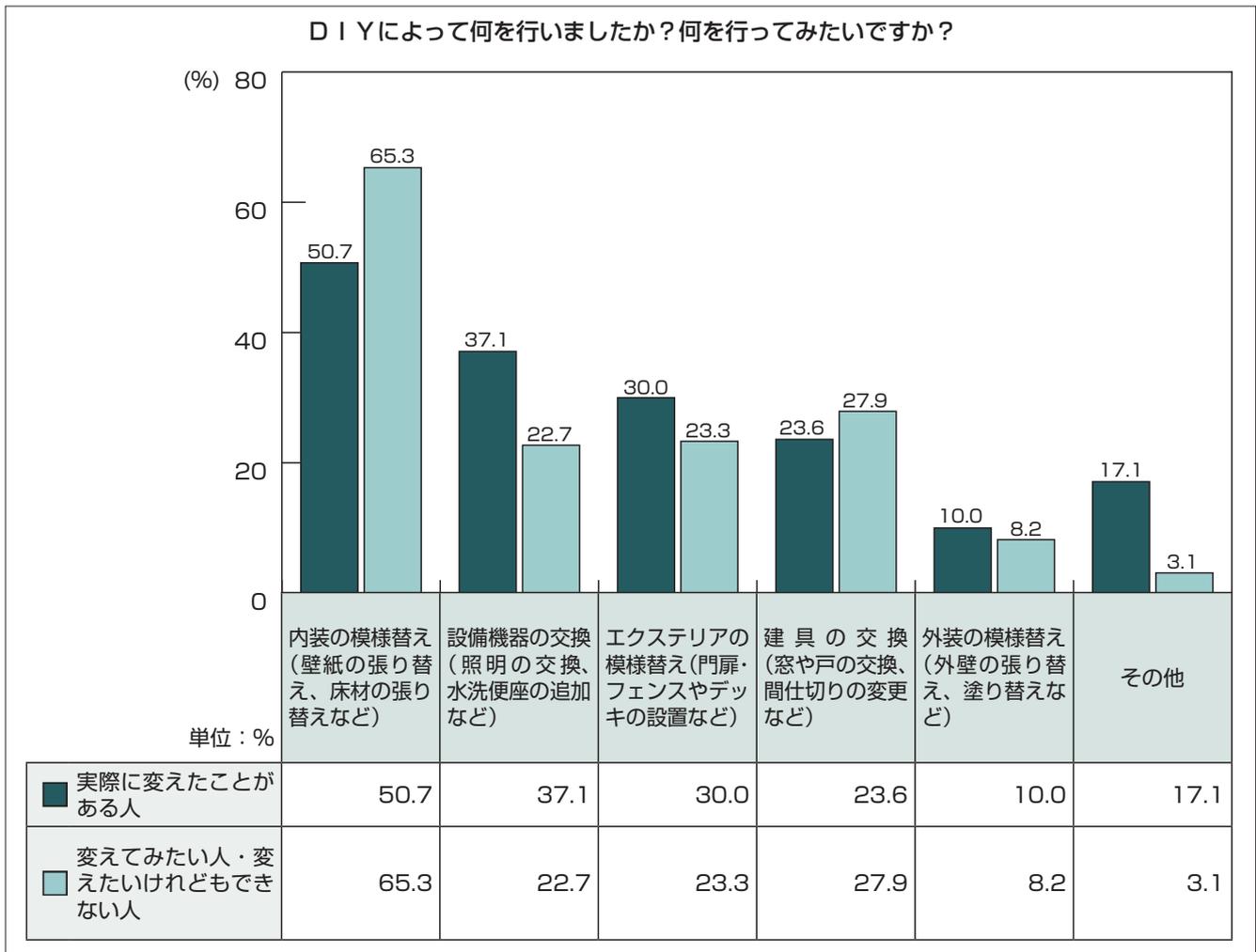
「知識や技術がない」が一番のハードル  
30代以下では「賃貸住宅」であること

- 「DIYをやってみたいけれどもできない」という層は37.5%に及ぶが、そのネックとなっている理由を挙げてもらったところ「技術や知識がない」ことが圧倒的に多かった。次いで「時間がない」、「きっかけがない」と続く。
- 「知識や技術がない」との回答は、年齢が上がるにつれて高くなる傾向が明確に出ている。「時間がない」は40代の数字が他年代に比べて高くなっている。「きっかけがない」は30代以下が平均を5ポイント以上上回っている。
- DIYに踏み出すには「知識や技術」が大きなハードルとなっており、それらを習得できる場づくりや情報発信が非常に重要となりそうだ。
- また、「賃貸住宅に暮らしている」という理由は17.2%と選択項目の中では一番低い結果となったが、30代以下だけは37.3%と非常に高い数字となっている。30代以下だけに注目すると、「知識や技術がない」と「時間ない」との理由は全体平均を大きく下回っている。若い層ほど賃貸住宅に暮らす割合が高いことを考えると、DIYが可能な賃貸住宅の整備は、若年層の潜在需要を顕在化させる起爆剤の一つとなりそうだ。



**【DIYで何を変えた・変えたい？】**  
**インテリアで自分好みの空間にしたい**  
**DIY実施者と潜在需要者で差も**

- 実際にDIYで住まいを変えたことがある人に、何を行ったか聞いたところ、「内装の模様替え」(50.7%)、「設備機器の交換」(37.1%)、「エクステリアの模様替え」(30.0%) など、さまざまなことを行っている。「その他」の回答も17.1%おり、DIY経験者は幅広く住まいに手を入れているようだ。
- 一方、DIYで住まいを変えてみたい人及び変えたいけれどもできない人という潜在的なDIY需要者に何を行ってみたいか聞いたところ、1位の「内装の模様替え」がDIY実施者を15ポイント近く上回る。また、DIY実施者では2位であった「設備機器の交換」が4位となり、「建具の交換」が2位となっている。「変えてみたい人」の理由が「自分の好みを変えたいから」67.7%であったことも考えると、まず、インテリアを変えることで自分好みの空間にしたいとニーズが読み取れる。同時に、知識や技術などノウハウを持たないDIY未経験者が、まず取り組むことに対するハードルが低いと見ている可能性もありそうだ。



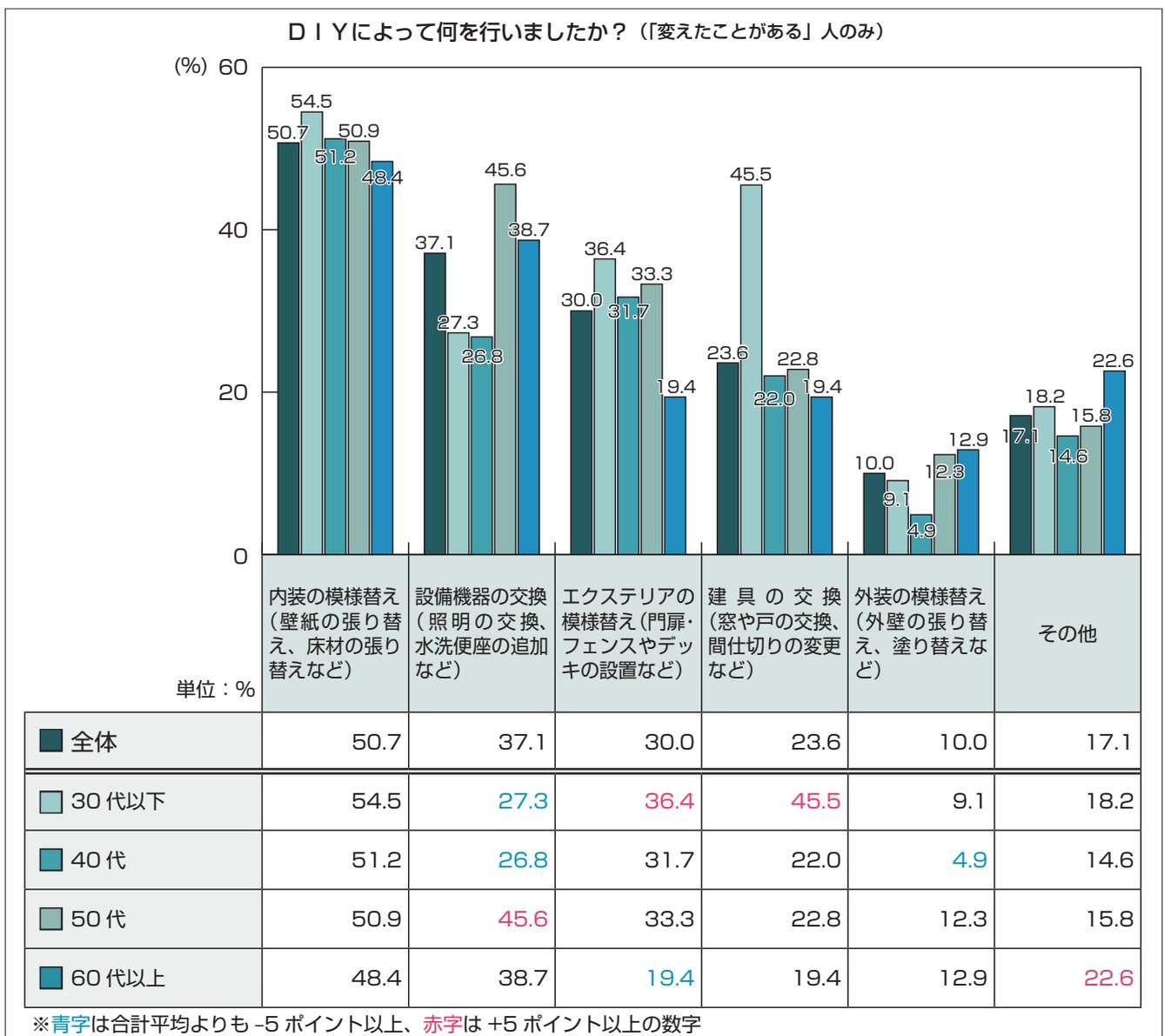
【DIYで何を变えた・变えたい?—DIY実施者】

50代以上は設備機器の交換に積極的なものの  
エクステリアの模様替えには抵抗感

○DIYで自宅を変えたことがある人の「何を行ったか」を年代別にみると（30代以下はサンプル数が少ないため参考値）、第1位の「内装の模様替え」はそれほど大きな差は出ていない。

「設備機器の交換」は40代以下と50代以上ではっきりと差が出ている。「実際に変えたことがある人」の「変えた理由」では、「安くすみそう」、「自分でやるべき」との回答が年代が高いほど増える傾向があり、年代が高い人ほど「設備機器の交換」に抵抗感がないものと考えられる。

逆に「エクステリアの模様替え」は60代以上のみが際立って低い数字となっている。



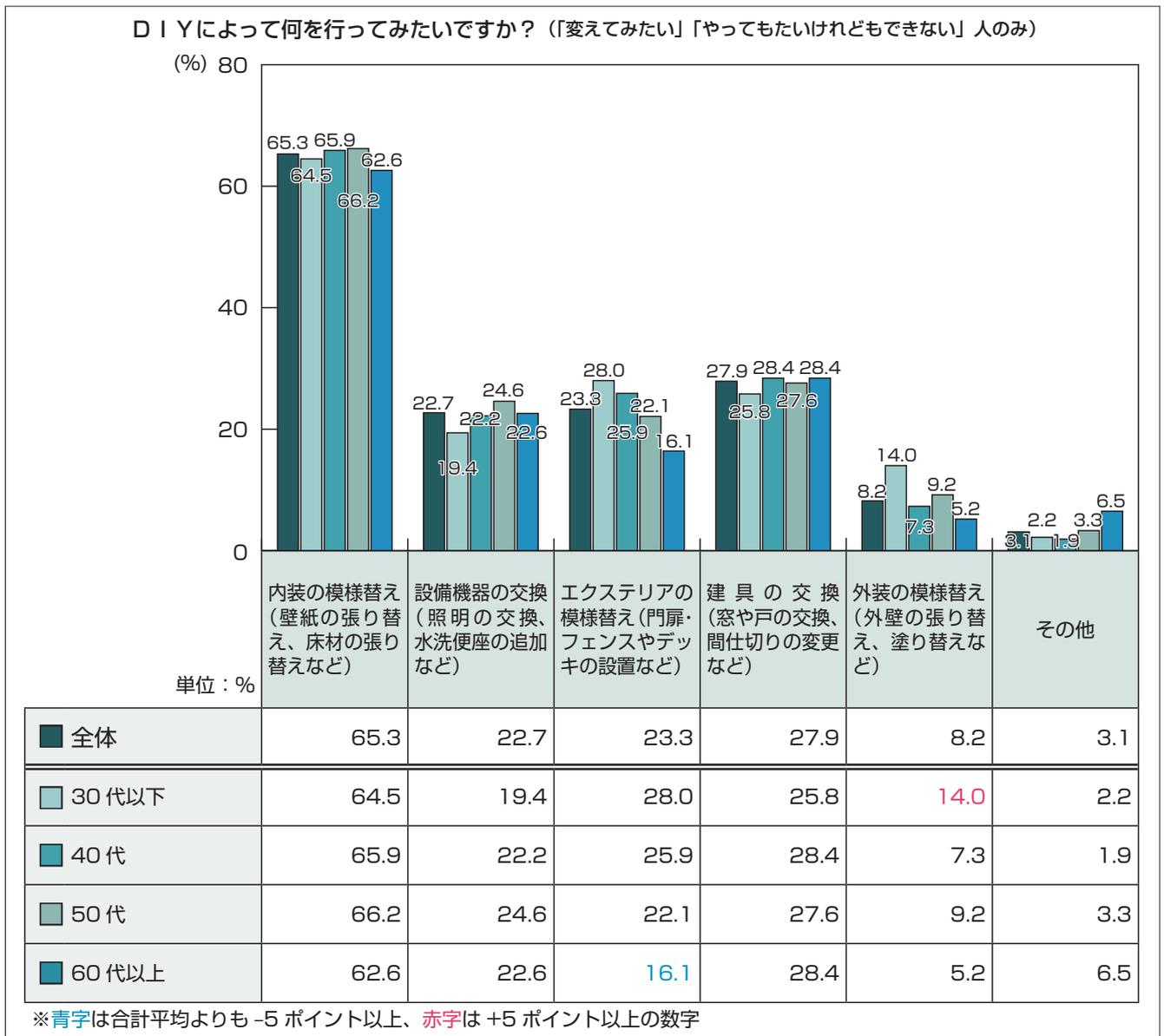
【DIYで何を変えた・変えたい?—DIY潜在需要者】

30代以下は外装模様替えに興味

建具や設備機器の交換は年代が高い人ほど「やってみたい」

○DIYで住まいを変えてみたい、もしくはやってみたいけれどもできない人が「何を行ってみたいか」を年代別にみると、それぞれの項目に年代別の大きな違いは見られない。そのなかで「エクステリアの模様替え」は60代以上が低く、「外装の模様替え」は30代以下が高くなっている。

傾向としては、「エクステリアの模様替え」は年代が上がるにつれて下がる傾向にある。また、顕著な差ではないが、「建具の交換」と「設機器の交換」は年代が上がるにつれて高くなる傾向がある。



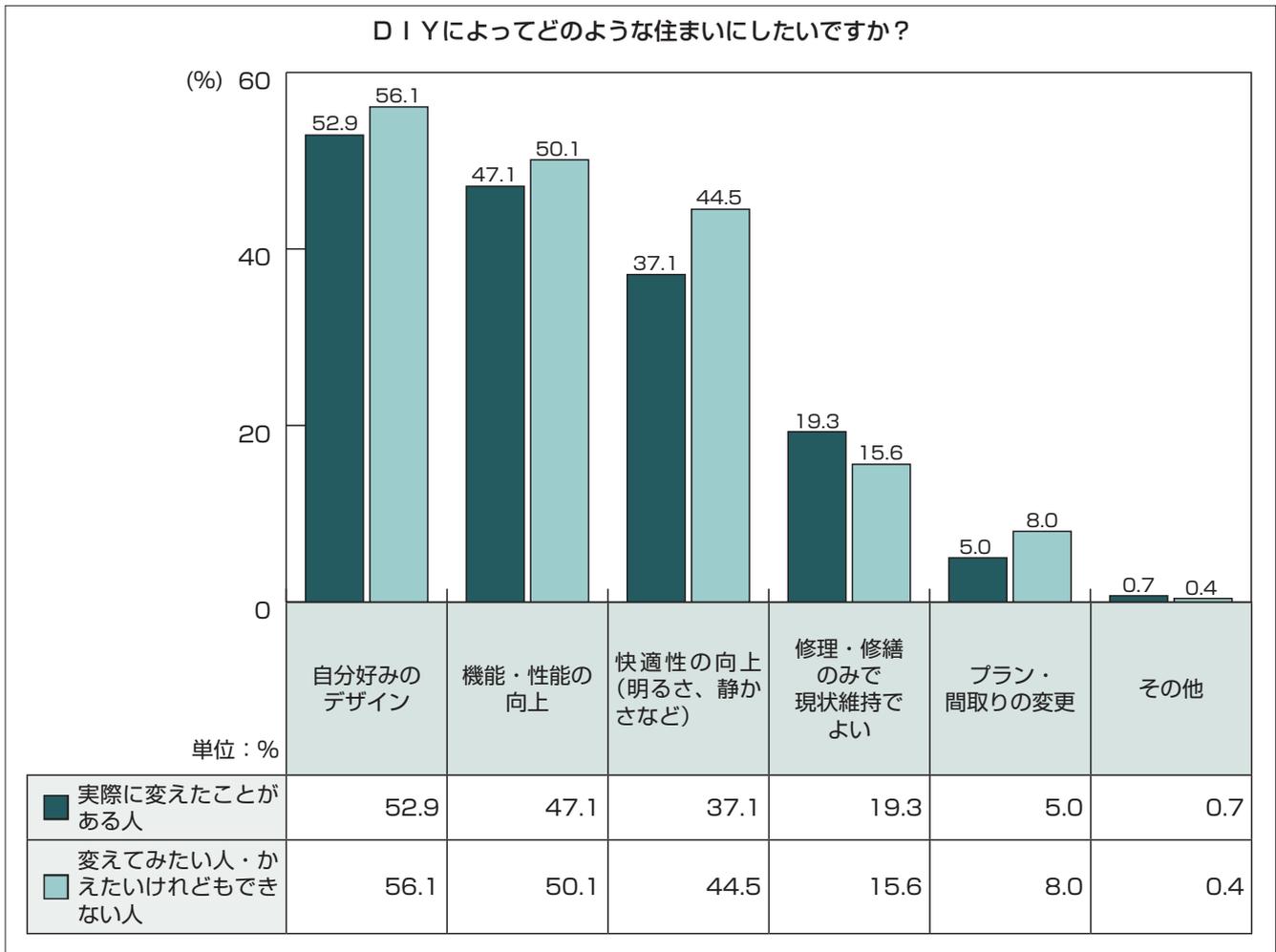
**【DIYでどのような住まいにしたい？】**

**好みのデザイン、機能・性能、快適性が鍵  
年代が高いほど快適性を求める傾向**

○DIYによりどのような住まいにしたいかを尋ねたところ、「自分好みのデザイン」、「機能・性能の向上」、「快適性の向上（明るさ、静かさなど）」という3項目の支持が高かった。

この3項目のいずれも「実際にDIYで住まいを変えたことがある人」よりも「DIYにより住まいを変えたい人・変えてみたいけれどもできない人」の方が割合が高いのがポイント。DIYを行ったことがない人は、DIYにより住まいを変えることにさまざまな面から夢を描いているのかもしれない。

○一方、「修理・修繕のみで現状維持でよい」と考える人は、「実際に変えたことがある人」で約2割、「変えてみたい人・変えてみたいけれどもできない人」が15%強と他項目に比べて低い。しかし、住宅のメンテナンスという側面を考える時、2割弱の人が自分でやっている・自分で行いたいと考えているということは注目されよう。



【DIYでどのような住まいにしたい?—DIY実施者】

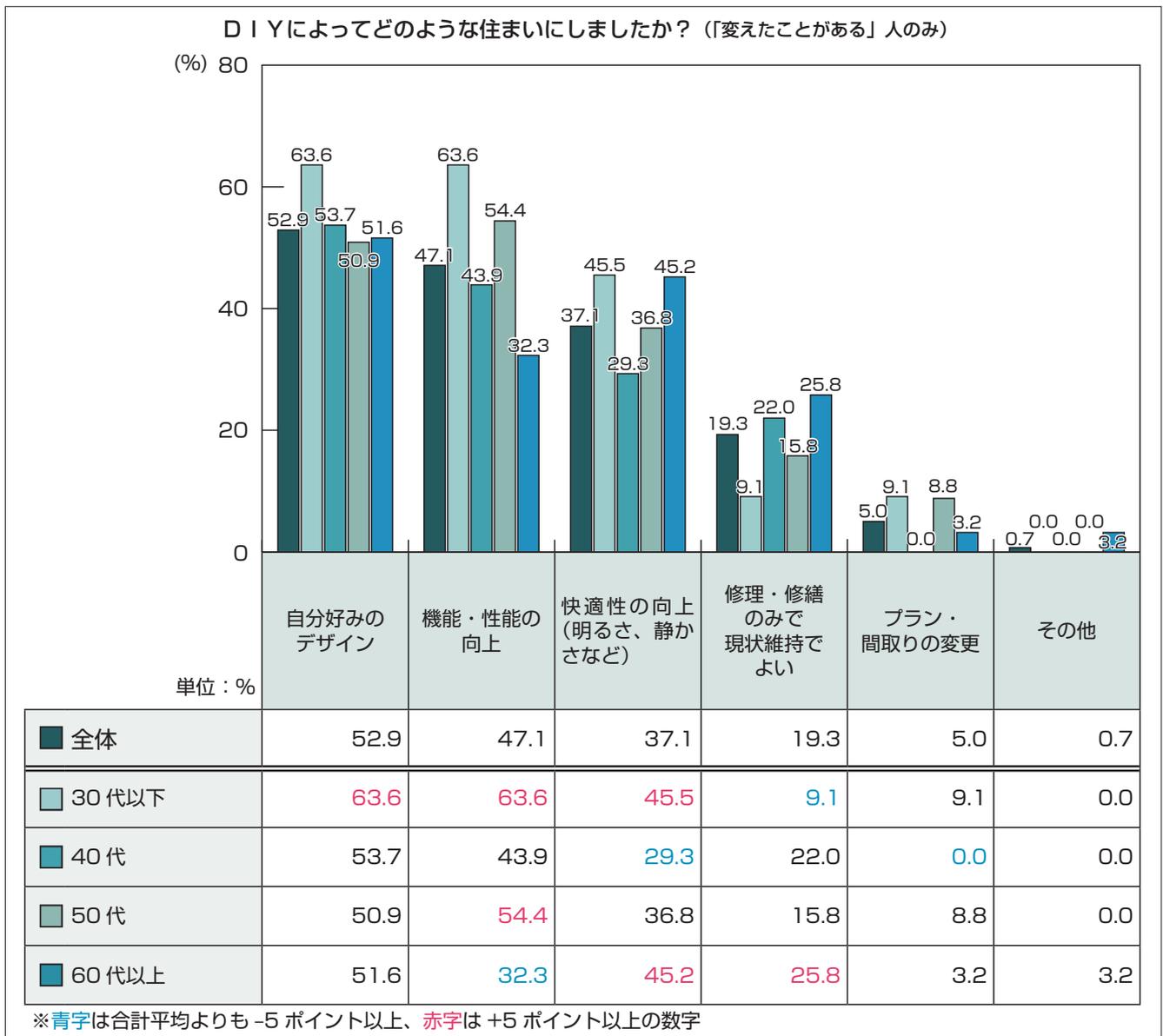
DIYの目的は“自分好みのデザイン”

60代以上は機能・性能の向上と、修理・修繕が目的

○実際にDIYで住まいを変えたことがある人の「どのような住まいにしましたか」の回答を年代別にみると（30代以下はサンプル数が少ないため参考値）、「自分好みのデザイン」は年代の差はほぼない。言い換えれば「自分好みのデザイン」は年代に関係なく最大の目的となっているといえる。

「機能・性能の向上」は50代が突出して高く、60代以上が低くなっている。また、「快適性の向上」は年代が上がるにつれて高くなる傾向が出ている。

年代別にみると特徴的なのが60代以上の層で、他年代に比べて「機能・性能の向上」は求めないものの、「快適性の向上」と「修理・修繕のみ」の項目が全体平均を5ポイント以上上回るという結果となった。



【DIYでどのような住まいにしたい？—DIY潜在需要者】

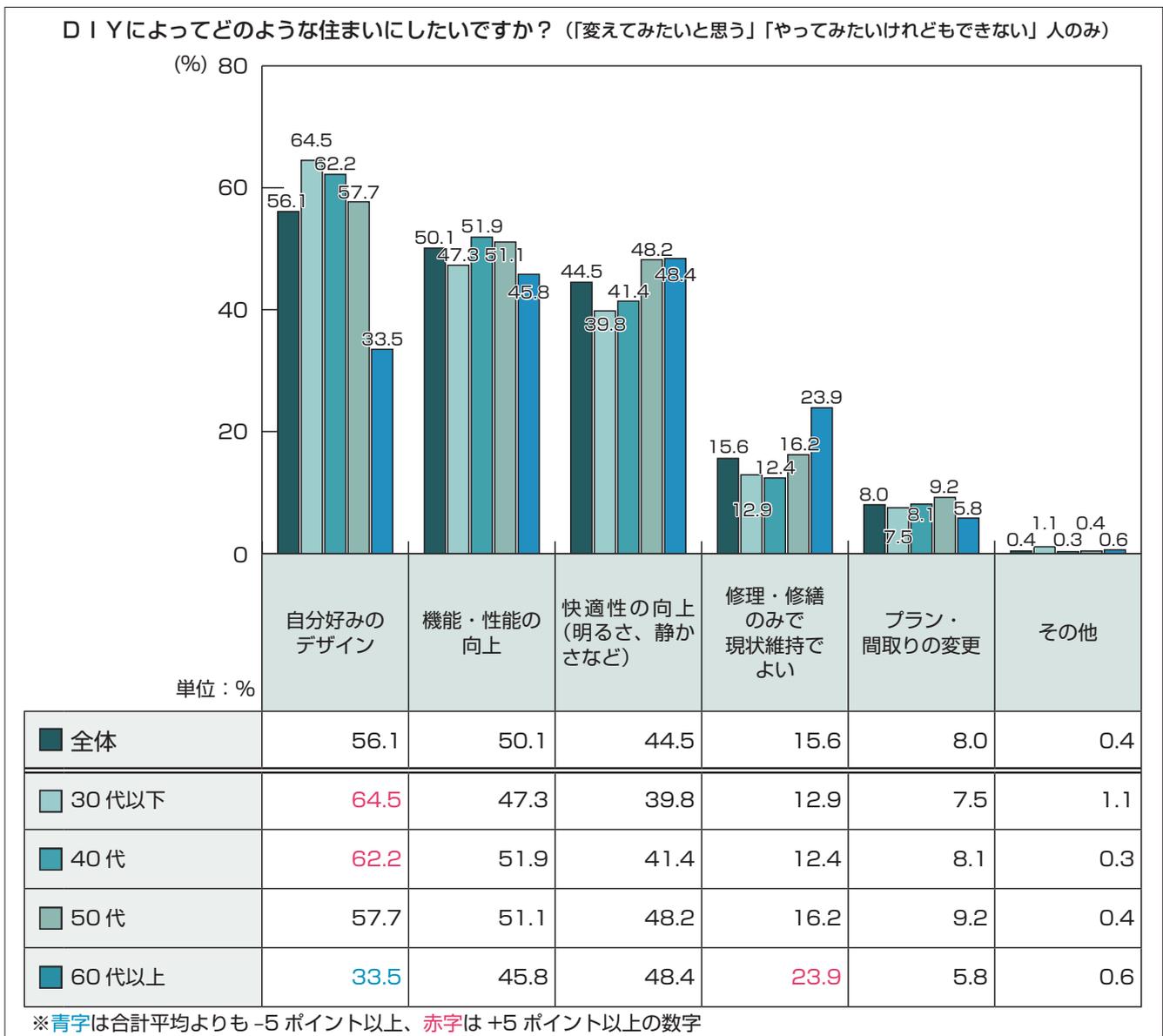
“自分好みのデザイン”は若い層ほど支持  
 年代が高まるほど“快適性”

○DIYで住まいを変えてみたい、もしくはやってみたいけれどもできない人の「どのような住まいにしたいですか」の回答を年代別にみると、トップの「自分好みのデザイン」は年代が低いほど支持率が高い傾向がある。40代以下の若い層が全体平均を6～8ポイント上回っているのに比べ、60代以上は22ポイント強も下回っている。

「快適性」は年代ごとに大きな違いはないが、年代が高まるにつれて支持が高くなる傾向がある。

DIYをやりたいが手をつけたことがない人においては、若い層はデザイン、年代が高まるにつれて「快適性」を求めている。

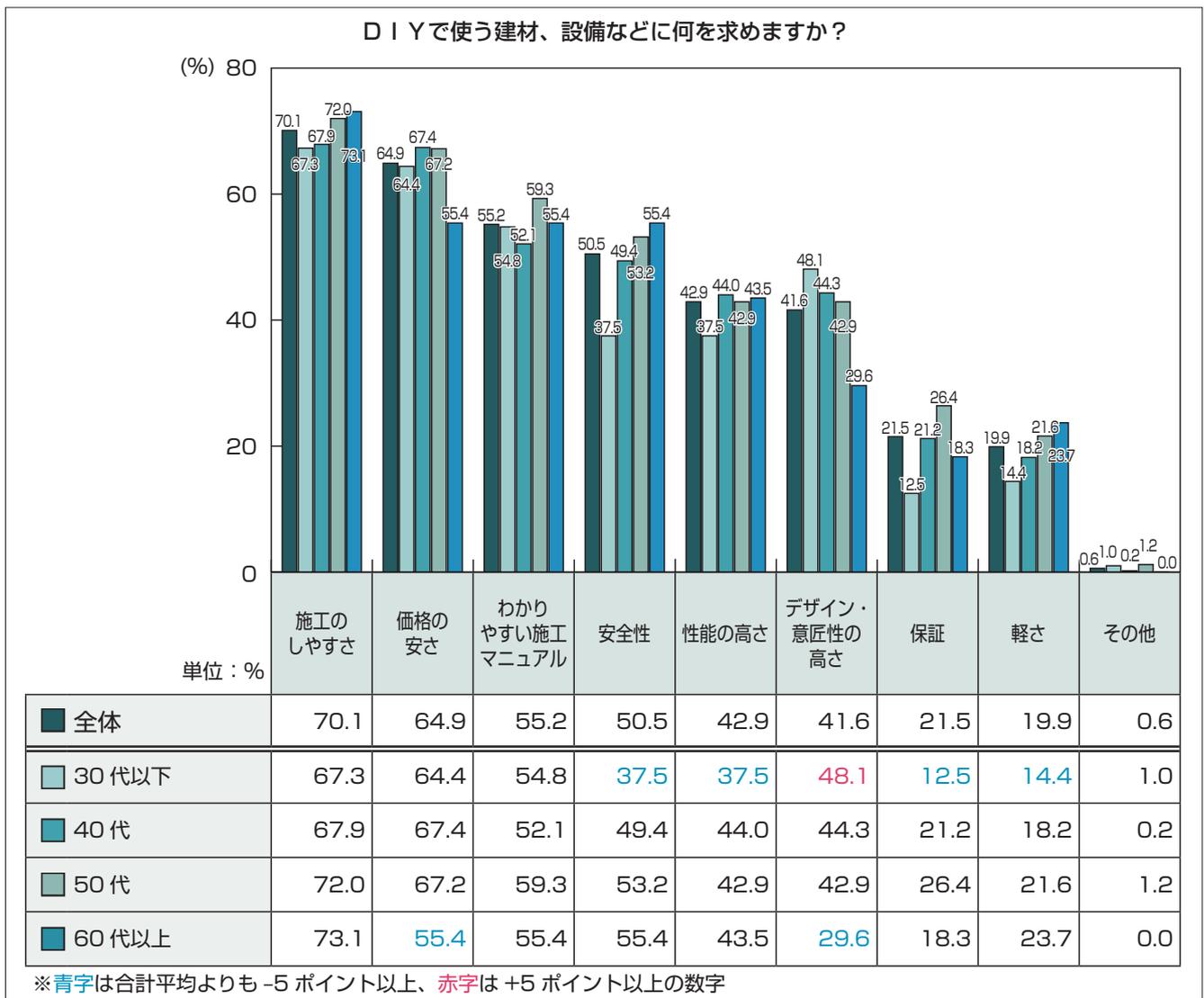
また、「修理・修繕」は60代以上の支持が突出している。



【DIYで使う建材、設備に何を求める？】

部材に求めるのは施工しやすさと価格  
年代が高まるほど「安全」と「軽さ」

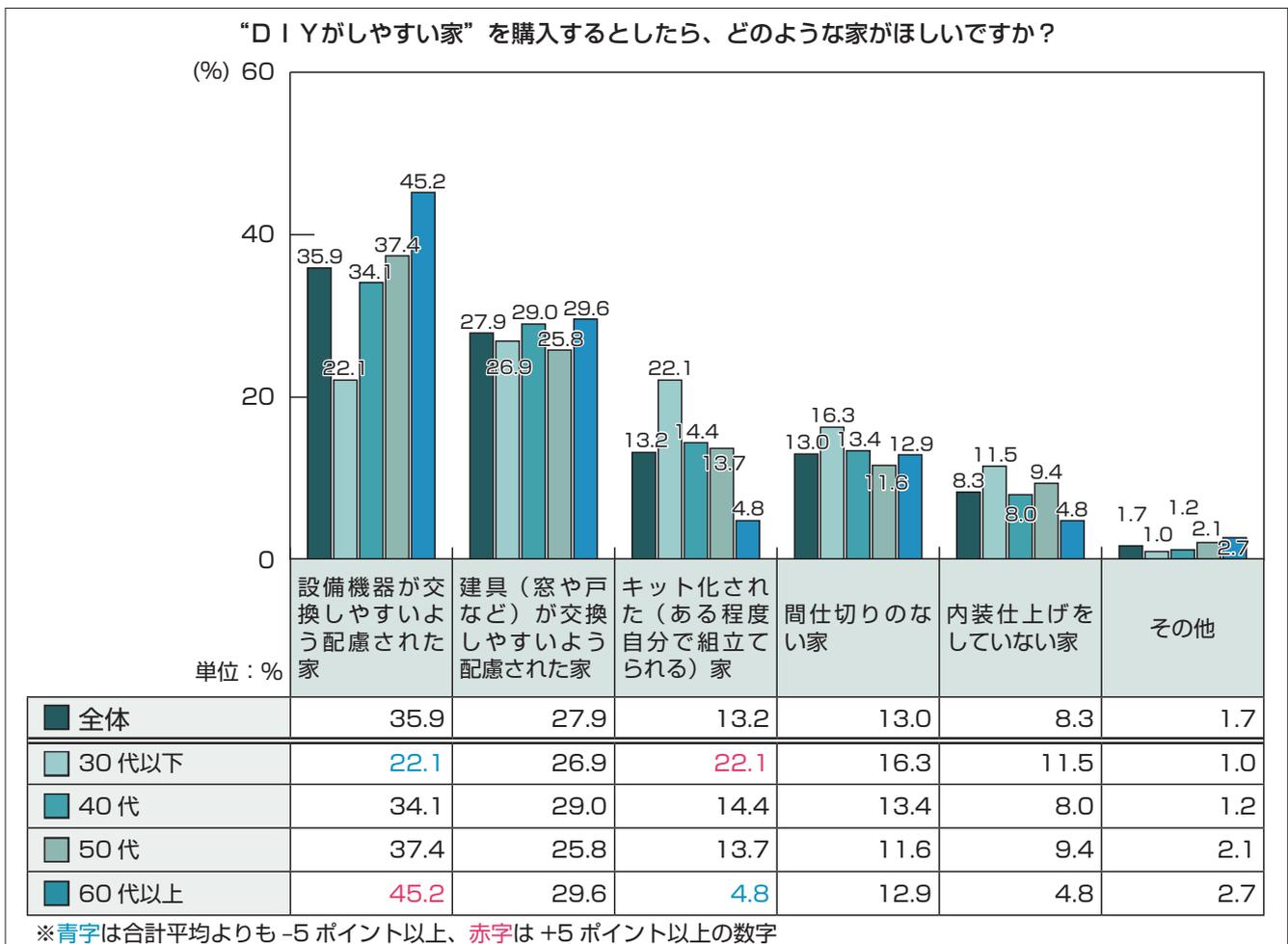
- DIYで住宅を「変えたことがある」、「変えてみたいと思う」、「やってみたいけれども、できない」人に、「DIYで使う建材、設備に何を求めますか」と聞いたところ、全体では「施工のしやすさ」、「価格の安さ」、「分かりやすい施工マニュアル」、「安全性」の4項目が5割以上となった。次いで「性能の高さ」、「デザイン・意匠性の高さ」が4割台で続いている。
- 年代別にみても、「施工のしやすさ」は、選択項目のなかで唯一7割台の支持で、どの年代でも強く求められているが、年代が上がるにつれて高まる意向がある。同様に「安全性」と「軽さ」も年代と共に高まる傾向が出ている。
- 30代以下は、「デザイン・意匠性の高さ」が全体平均を6.5ポイント上回っている。全体で、平均値を5ポイント以上上回っているのは、他年代を含めてもこの項目だけである。また、30代以下では「安全性」、「性能の高さ」、「保証」、「軽さ」という4項目が全体平均を5ポイント以上下回っている。
- 40代、50代は、他年代に比べて顕著に多い・少ないという項目はない。
- 60代以上は、「価格の安さ」と「デザイン・意匠性の高さ」が全体平均を5ポイント以上下回っているのが特徴だ。



【DIYしやすい家とは？】

求めるのは設備や建具の交換しやすさ  
若い層ほど自由度の高さを求める

- DIYニーズを持つ人（DIYで自宅を変えたことがある、変えてみたいと思う、やってみたいけれどもできない人）を対象に「“DIYがしやすい家”を購入するとしたら、どのような家がほしいか」を聞いたところ、全体平均では「設備機器が交換しやすい」と「建具が交換しやすい」の2項目が3割前後と他に比べて高かった。「キット化された家」や「間仕切りがない」が約13%、「内装仕上げをしていない」が約8%と、はじめから大掛かりなDIYを行うことは敬遠されるようだ。「何を行ったか、何を行ってみたいか」ではDIYを行ったことがある人の5割、やってみたい人の65%が「内装の模様替え」と回答していることを考えると、購入時に仕上げなどをしていない住宅を求めているのではなく、住みながら手を入れていきたいと考えているのかもしれない。
- 年代別にみても、「設備機器が交換しやすい」は年代が高まるにつれて回答率も高まる傾向がある。さらに30代以下は平均値を約14ポイントも下回り、60代以上は約10ポイントも上回っている。若い層ほど設備機器の交換には自ら手を出したくないようだ。逆に「キット化された家」は30代以下が平均を約9ポイント上回り、60代以上は8ポイント強下回っている。平均の数値が低かった「キット化された家」、「間仕切りがない」、「内装仕上げをしていない」の3項目については、いずれも30代以下の割合が高くなっており、30代以下の層は他年代に比べて購入段階での自由度を求めているといえるだろう。



## 【ストックマーケットのなかでのD I Yの可能性】

女性のD I Y実施者は1割を超え、さらに潜在需要者は、「変えてみたいと思う」と「やってみたいけれども、できない」をあわせ約64%に達する。今後、住まいのリフォーム、リニューアル、カスタマイズ、メンテナンスなどにおいて“セルフ”という視点が従来以上に注目されてくるのではないだろうか。

あらためてD I Y実施者（自宅をD I Yで変えたことがある）と、D I Y潜在需要者（自宅をD I Yで変えてみたい+やってみたいけれども、できない）ごとに調査結果を整理し、D I Yに対するニーズを探った。

### ■実際に変えたことがある人

D I Y経験者は全体の1割を占める。この層を年代別にみると、40代以下が7.4~7.5%、50代以上が12.6%以下と大きく二分され、年代が高い層が若干D I Yの経験者が多い。

D I Yで自宅に手を入れた理由は「安くすみそうだから」と「自分の好みを変えたいから」の2項目が6割台と高くなっており、「楽しそうだから」が3割弱、「家に対する愛着がわきそうだから」が1割強と続く。

これを年代別にみると（30代以下はサンプル数が少ないため参考値）、1位の「安くすみそうだから」は高い年代ほど回答率も高い。同様に割合は少ないものの「模様替えなどは自分で行うべきと考えているから」も同様の傾向が出ている。これらのことから、高い年代ほど住宅に自ら手を入れることに抵抗感がない様子が見えてくる。また、「D I Yで行ったこと」では、2位の「設備機器の交換」について50代以上が若い層に比べて顕著に多く、割合こそ少ないものの「外装の模様替え」も同様の傾向にある。こうしたことから50代以上の層は、住まいの維持・メンテナンスなど“やらなくてはいけないこと・やるべきこと”について自ら行っているといえよう。

「D I Yによってどのような住まいにしましたか」について、「快適性の向上」は年代が上がるほど支持率が高く、60代以上は全体平均を8.1ポイント上回っており、逆に「機能・性能の向上」は全体平均を14.8ポイントも下回っている。リフォーム・リニューアルの目的が機能・性能といったハード的な向上よりも、そこでの暮らし・生活の向上に重きを置いていることがわかる。

今後、ストックマーケットで注目されるボリューム層の一つが高齢者層であるが、D I Yを切り口とした場合、日頃のメンテナンスや交換などに着目した商品やサービスで低コストなものの提供が訴求力を持ちそうだ。

一方、D I Y経験者のうち40代以下の若い層に着目すると、D I Yで自宅に手を入れた理由で注目されるのが3位の「楽しそうだから」で、年齢が低いほど回答率が高いという結果となった。「D I Yによって変えた理由」も「安くすみそうだから」という回答は若い層ほど低い。D I Yにメンテナンスや修理・交換といった枠を超え、住まいを自分好みに変えることの“FUN”を楽しんでいる様子が見えてくる。

### ■変えてみたいと思う人+やってみたいけれどもできない人

D I Yによって自宅を変えてみたいと思う人は26.4%と約4分の1に及ぶ。また、やってみたいけれどもできない人は37.5%であり、これらD I Y潜在需要者は全体の63.9%に及ぶ。「変えてみたいと思う」人を年代別にみると、40代以下が28~30%、50代以上が23~24%と若い層が多くなっている。一方、やってみたいけれども的でない人は年代別の大きな違いはないが、30代以下のみが若干少ない。

D I Yで自宅を変えてみたい理由は、「自分の好みを変えたいから」が約68%と際立って多い。実際にD I Yを手掛けたことがあるD I Y経験者の一位の理由「安くすみそうだから」（64.3%）は、47.0%と、それほど多くはない。また、3位以下の「楽しそうだから」、「家に対する愛着がわきそうだから」の順位はD I Y経

験者と変わらないが、それぞれの割合はD I Y経験者よりも多くなっている。D I Yをやってみたいと考えている人は、D I Yにさまざまな魅力を感じていることがうかがえる。

この「理由」を年代別にみると、30代以下は「自分の好みを変えたいから」が全体平均を10ポイント以上上回っている。逆に、ほかの項目すべてで一番低い割合であり、30代以下の若い層の理由は「好みを変えたい」という理由が明確だ。また、50代は「安くすみそうだから」が全体平均を7.4ポイント上回り、年代別で最も多い。60代以上は、「自分の好みを変えたい」と「安くすみそうだから」の上位2項目が全体平均を下回っていると同時に、3位以下の「楽しそうだから」、「家に対する愛着がわきそうだから」、「模様替えは自分で行うべきと考えているから」のすべての項目で全体平均を5ポイント以上上回っている。年代ごとに差が明確に現れている。

D I Y潜在需要者が「行ってみたいこと」は1位の「内装の模様替え」が約65%と他項目に比べて顕著に多い。また、この数字はD I Y経験者を約15ポイントも上回っている。また、D I Y経験者で4位であった「建具の交換」が2位となり、同2位であった「設備機器の交換」が4位となっているのもポイントだろう。これらを年代別にみると、「内装の模様替え」は顕著な差がなく、すべての年代で高い支持となっている。特徴的なのが「エクステリアの模様替え」で、年代が若いほど高い数字となっている。さらに「外装の模様替え」は30代以下のみがほか年代に比べて高い数字であり、若い層ほど庭まわりや外観などに手を入れることに興味があり、自分好みにしたいというニーズが強いようだ。

こうしたD I Yによって求める住まいは、「自分好みのデザイン」、「機能・性能の向上」、「快適性の向上」の3項目が4割以上。順位はD I Y経験者と変わらないが、3項目すべてでD I Y経験者の数字を上回っている。これを年代別にみると、「自分好みのデザイン」は若い層ほど支持が高い。特に60代以上は顕著に低く、30代以下と30ポイント以上の差となっている。逆に「快適性の向上」と「修理・修繕のみで現状維持でよい」の2項目は年代が高いほど支持率も高くなる傾向がある。

D I Y潜在需要者は、特に内装=インテリアに手を入れることで自分好みの空間に変えることに大きな魅力を感じているようだ。加えて、「やりたいけれどもできない」人の理由は「知識や技術にかけるから」が約75%と他項目に比べて際立って多いことから、D I Yが未経験であるだけに、手間のかかると思われることやノウハウが求められる思われることに躊躇している可能性も考えられる。「D I Yで使う建材、設備などに何を求めますか」への回答のトップが「施工のしやすさ」であることも考えると、潜在需要の潜在化にD I Yに適した商品開発・技術開発が大きな役割を果たしそうだ。

禁無断転載

住まい価値総合研究所

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-1-2  
ATMビル3F

株式会社かんでんCSフォーラム

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場 3-2-4  
南船場ユーズビル9F

この報告書についてのお問い合わせ

(株)創樹社 住まい価値総合研究所  
担当: 平澤 和弘

TEL 03-6273-1175

E-mail hirasawa@sohjusha.co.jp